

第40回 通常総会



去る五月二十五日浜松市領山寺レイクホテル「花乃井」におきまして、当組合第四十回通常総会を開催致しました。

総会におきましては、組合員五七社（内委任状出席二十八社）の出席を得まして、平成十七年度収支決算書、平成十八年度事業計画案・収支予算案の件を審議の結果、全議案が原案通り可決承認されました。また、組合員企業の人事変更による役員改選につきましては、「役員候補者名簿」

の候補者 岩本泰典氏（昭和プロダクツ）が選任されました。

尚、昭和六十三年より十九年間の永きに渡り理事長を務めて来られました竹本實生氏（日本紙管工業株式会社）が辞任され、次の新理事長には下畦正明氏（西日本紙管株式会社）が就任されましたことを併せてご報告申し上げます。

理事長就任ご挨拶

理事長 下畦正明

西日本紙管株式会社 代表取締役社長

本年五月の総会において、竹本理事長の退任に伴い、理事長の大役を仰せつかり、身の引き締まる思いです。

紙管の仕事に携わって約十四年で、まだまだ業界のことも十分知らず、未熟者ですので重責に耐えられるか不安もありますが、皆様のご推挙に答えるべく努力していきたいと考えております。

当組合も四十年を越える歴史を持ち、竹本前理事長を始め諸先輩の方々のご努力により、種々の活動を行い、諸問題を解決して今日の組合あり、今後も組合が、ひいては各組合員がより一層発展していくことを、皆様とともに一致協力して進めていきます。

いと存じます。

ご承知のように、私たちの紙管業界はバブル期以降製品単価の下落やユーザの海外生産による市場縮小などにより、大変厳しい状況が続いてきましたし、最近の原材料価格、接着剤や燃料その他の石油関連製品などの価格上昇は今までになく

組合員各社の収益に影響しています。この難しい時期を如何に乗り切っていくか、また組合活動をどのような方向にしていくか、組合員の皆様と共に考え、行動していきたいと存じます。

組合役員につきましては、副理事長に米谷紙管製造（株）米谷社長が選任されましたこと、また十九年に亘り理事長としてその重責を果たされた竹本前理事長にはその功績を称え、最高顧問に就任して頂きましたのでご報告いたします。



歴史のひとつコマとして

副理事長 米谷 啓和

米谷紙管製造株式会社
代表取締役

先日、亡父の資料整理をしていたところ、大連市の地図と覚え書きのようなものが出てきた。よく読むと戦前に弊社が、大連市播磨町四丁目七番に工場を建てて中国進出をした当時の様子と、のちにその足跡をたどって亡父が大連を旅したときの地図や資料であった。

以前、うちの長男とともに一九三四年（昭和九年）から一九四三年（昭和十八年）まで南満州鉄道が運行した特急列車「あじあ」号とそれを牽引した流線型蒸気機関車「パンナ」に擬って、Nゲージ模型や当時の記録をつづった本を集めたりしていたことがあった。

昭和十年代の大連市の復元地図を



手にとつて、そこに「満鉄本社ビル」という文字を見た。とたん、七十年の時空を超えて自分のなかのさまざまな記憶や情報、過去と現在とがひとつにつながる心持ちがした。

そんな折に、昨年創立四十周年を迎えて新たな歴史と役割とを刻み始めた全国紙管工業組合の副理事長という役目を仰せつかることになった。襟を正してお受けするという引き締まった思いを抱くと

ともに、紙管業界の抱える課題に会員企業のみなさんとともにあせることなく、しかしたゆむことなく取り組んでいきたい。

各委員会本年度事業計画

総務委員会増強委員会

通常総会で承認された事業計画に基づき、当委員会は今年度も恒例の事業計画を進めます。

情報事業として

①紙管業界景気動向調査の実施

および報告

②紙管製品需要予測の調査および報告

教育事業として

①労働条件調査および報告

②春の賃上げ等に関する調査お

よび報告

以上の事業につきましましては、組合員各位には更なるご協力をお願い申し上げます。

なお、昨年度から委員会名も総務委員会増強委員会と変更になったことに伴い、会員増強にも取り組んでおり、このたび一社の加入を頂きました。引き続き各地区部会とも連携を取り会員増強に取り組む所存です。組合員各位のご理解とご協力を改めてお願い申し上げます。

技術・開発委員会

当委員会の恒例行事として毎年秋に開催しております合同研修会について、現在その内容について審議を進めております。

多くの方々より意見をお聞きしました。昨年まで三回にわたりトヨタ生産方式を基本にしました現場改善の手法についての講演は大変好評で、毎回参加される方が多くなってきました。

やはり、私も製造業に属している者にとつては、物作りの基本に立った視点で物の見方や考え方が必要で、現在のトヨタ自動車の好業績の基本となった考えを取り入れることにはやぶさかではないと考えられます。

以上のような観点より、昨年と同じ大西マネージメント・ソリューション

ンの大西氏に講師をお願いすることに内定しています。内容については、前回までの三回の講演と視点を変えたものにしたかと考え、講演内容を検討しています。是非今年の研修会を楽しみにして頂き、多くのご参加をお待ちしております。

PR情報委員会

①会報の発行・配布

皆様からの投稿をお待ちしております。

②PR情報に係わる事業の実施

IT推進委員会

組合員の皆様には、当委員会の活動に対しては格別のご協力を頂き誠にありがとうございます。当委員会も発足後、年目に入り、試行錯誤を繰り返しながら活動を進めてまいりましたが、なかなか目立った成果を上げられず誠に申し訳なく思っています。

さて、今年度の活動ですが、IT推進委員会の活動において一番重要な事は、皆様方へ有用な情報を迅速に発信することであると考えています。このことを忘れることなく、本年度の事業計画を実施していきたいと考えています。そのためには皆様方に協力していただき、ニュースや情報の提供をお願いすることになると思いますが、皆様方のご協力の程よろしくお願い致します。

第八回青年部会通常総会

平成十八年六月二日開催

去る六月二日兵庫県有馬温泉「古泉閣」にて第八回青年部会通常総会が開催されました。

平成十七年度は大三興業も加入され二十九社となりましたが、その内、出席組合員数二十四社（内委任状五社）出席者十九名を得まして、平成十七年度事業報告書並びに平成十八年度事業計画案を審議の結果、原案通り可決承認されました。また、任期満了による役員改選につきましても、満場一致で承認されました。

総会終了後の懇親会では、青年部会ならではの情報交換やミニ討論会など、非常に有意義な時間を過ごせました。

翌日は西宮高原ゴルフ倶楽部にて、親睦ゴルフコンペが開催され、最近メキメキ調子を上げていらつしやる春山専務が優勝されました。終始幹事役をお務め頂いた岩本社長には大変ご苦勞を掛け、紙面をもって一同感謝申し上げます。

《新役員》紹介》

- 部会長 佐方将義（三協紙業務）
 副部会長 田中真司（田中紙管務）
 春山礼孝（大和川紙工務）
 竹本拓夫（日本紙管工業務）
 岩本善典（昭和プロダクツ務）
 大澤浩一郎（日本加工機材務）
 平手義彦（丸平紙工務）
 村上和弘（藤竹林紙管）
 相談役 赤柴勝三（カオル工業務）

新部会長へ挨拶

佐方将義

三協紙業株式会社

この度、青年部会会長を任命いただきました三協紙業の佐方です。当部会設立より八年に渡り初代会長を務められた平手氏の後任として身の引締まる想いですが、親組織でもある組合にご指導を仰ぎつつ、精一杯頑張りたいと決意しております。

さて、今まさに我々の業界は苦しい局面を迎えております。思い返せば造船・鉄鋼：業界低迷で苦しんだ企業がどれ程あったでしょう。業界が廃れて企業は社会責任が果たせるのでしょうか。自社だけ高収益を出し続ける事が出来るのでしょうか。業界あつての製造業です。そして、

我が業界唯一の組織がこの組合です。それ故私は、会合に参加されない方々に対し、組合より優先する仕事があるのでしょうかと問いたい。先ずは一同に会すること、そして皆が発言することが大切と考えています。その考えのもと、組合活動内容を更に充実させ、参加への理解を高めてゆきたいと考えております。今後とも青年部会を宜しくお願い致します。

紙管用語集 販売中



新人教育にもお役に立て下さい

会員特別価格 1000円
 一般価格 1500円

青年部会では7月よりメールマガジンを発信しています。

会員登録がまだお済みでない方は至急ご登録下さい。次回からは、3月にお送り致しました加入申込書ご返送の方のみとさせていただきます。ご連絡下記まで！

alljappt@mx.mesh.ne.jp

青年部会メールマガジン

Vol. 1 2006/07/3

もくじ

- 1 ■ ご挨拶
- 2 ■ 新役員のご紹介
- 3 ■ 平成18年度事業内容の検討

平成18年度 紙管製品需要予測調査報告

	化成フィルム用	製紙用	情報加工紙	化合繊紡績用	繊維織物用	テープ用	土木建築用
15年度紙管製品別需要量実績(t)	134,418	52,358	24,810	22,328	4,090	23,959	5,783
15年度紙管製品別需要量品種別割合(%)	41.16	16.03	7.54	6.84	1.25	7.34	1.77
16年度紙管製品別需要量実績(t)	143,947	46,514	21,406	17,583	3,028	28,063	9,773
16年度紙管製品別需要割合(%)	44.08	14.24	6.56	5.38	0.93	8.59	2.99
17年度紙管製品別需要量予測(t)	148,679	47,973	21,453	17,118	3,073	27,958	10,064
17年度紙管製品別需要割合(%)予測	44.78	14.45	6.46	5.16	0.93	8.42	3.03
17年度対前年比紙管需要品種別伸び率(%)予測	103.29	103.14	100.22	97.36	101.49	99.62	102.97
17年度紙管製品別需要量実績(t)	144,885	51,834	20,872	24,418	2,911	24,461	8,475
17年度紙管製品別需要割合(%)	43.80	15.82	6.29	7.30	0.88	7.37	2.55
17年度対前年比紙管需要品種別伸び率(%)	100.51	111.44	97.51	138.87	96.13	87.16	86.72
18年度2Q紙管製品別需要量(%)予測	72.358	28,812	11,272	22,615	1,251	12,169	5,042
18年度2Q紙管製品別需要割合(%)予測	39.88	15.77	6.21	12.46	0.69	6.71	2.78
18年度紙管製品別需要量予測(t)	149,620	52,570	20,711	24,882	2,298	22,360	9,264
18年度紙管製品別需要割合(%)予測	44.88	15.77	6.21	7.46	0.69	6.71	2.78
18年度対前年比紙管需要品種別伸び率(%)予測	103.41	101.42	99.23	101.90	78.97	91.41	109.30
	一般容器用	鉄鋼用	その他梱包用	IT関連	その他		合計
15年度紙管製品別需要量実績(t)	16,440	13,568	17,535		12,055		327,139
15年度紙管製品別需要量品種別割合(%)	5.03	4.18	5.37	0.00	3.69		100.18
16年度紙管製品別需要量実績(t)	11,775	11,026	17,785	1,967	13,683		326,551
16年度紙管製品別需要割合(%)	3.61	3.38	5.45	0.60	4.19		100.00
17年度紙管製品別需要量予測(t)	13,109	11,404	17,211	1,972	12,012		332,025
17年度紙管製品別需要割合(%)予測	3.95	3.43	5.18	0.59	3.62		100.00
17年度対前年比紙管需要品種別伸び率(%)予測	111.33	103.43	98.77	100.26	87.79		101.68
17年度紙管製品別需要量実績(t)	12,830	10,995	16,058	7,046	7,257		331,844
17年度紙管製品別需要割合(%)	3.87	3.31	4.84	2.12	2.19		100.00
17年度対前年比紙管需要品種別伸び率(%)	108.96	99.72	90.29		104.55		101.62
18年度2Q紙管製品別需要量(%)予測	5,973	5,765	8,248	4,032	4,119		181,456
18年度2Q紙管製品別需要割合(%)予測	3.29	3.18	4.55	2.22	2.27		100.00
18年度紙管製品別需要量予測(t)	10,975	10,592	15,155	7,409	7,567		333,404
18年度紙管製品別需要割合(%)予測	3.28	3.18	4.55	2.22	2.27		100.00
18年度対前年比紙管需要品種別伸び率(%)予測	85.54	86.34	94.38	105.11	104.27		100.47

品 種	内 容	平成18年度需要予測コメント
化成フィルム用	フィルムのコアとして使用されている紙管。シームレス紙管も含む。	増設・包装用から付加価値フィルムへの移行・IT関連の需要拡大等で一部増加傾向が見られる。
製 紙 用	新聞、印刷用紙、コート紙、特殊紙、タフタ紙、紙等のコア。トイレットペーパー用紙管。	洋紙用は好調、再生紙管の利用率が増加拡大する一方で新管の増加もありほぼ横ばい傾向
情報加工紙	FAX用感熱紙、端末用感熱紙、レジスター用紙等に使用される2.5mm以下の小径紙管。その他乗車券等の磁気コートした紙のコア。	一部海外移転・FAX用紙の使用減少で減産とあるが、一部に増産増設もありほぼ横ばい傾向
化合繊紡績用	化成系、紡績糸、炭素繊維糸等の原糸、加工糸の巻き芯、紡織用コーン紙管。	減産・減産傾向が続いているものの、一部新規参入、上昇も見受けられるがほぼ横ばい
繊維織物用	プリント生地、織物、編物生地等の繊維織物の巻き芯。	さらに減少傾向
テープ用	包装用、医療用、その他の用途の粘着テープや接着テープの巻き芯。	現状維持のから若干減少傾向
土木建築用	建箱、土木用で使用されるボイド・チューブ、型枠用で使用される紙管等、その他建築部材として使用される紙管。	昨年は愛知万博関連建設の特需あり好調、本年も引き続き増加傾向
一般容器用	乾電池用保護用、丸型一般容器、紙管を使用したコーキング剤カートリッジやトナー容器。	リサイクル法により使用度変更・包装様式の変更・簡素化などにより減少傾向
鉄 鋼 用	ワイヤー、電線等の巻線用コア、金属箔や金属板コア。鉄鋼生産時の温度炭素量計測用で使用される紙管。	鉄鋼業界の持ち直し、需要開拓もあるが引き続きやや減少傾向
梱 包 用	コーナーボード、梱包用紙管、軽量パレット用紙管、耐油、耐水用紙管(のり剤用、コーワペイント用)。	新規製品、需要開拓・輸出増加などもあるが若干減少傾向
IT関連用	コイルの巻き芯等の情報機器に使用される紙管、情報用機器等の組み立て用で使用される紙管。	やや増加傾向
その他	その他上記に属さない紙管。	一部紙管使用方向での営業転換・新製品などにより増加が見られるもののほぼ横ばい傾向

紙管と梅雨

赤柴元五郎会長
カオル工業株式会社



紙管の仕事に携わってからは、馬齢を重ねているうち、何時しか五十年の歳月が過ぎてしまった。この間、梅雨どきになると毎年決まって気が重くなる。と言うのは、昔から「紙は生きもの」と言われ、湿気に非常に敏感だからである。

特に紙管は、製筒の際に水溶性の接着剤を使用するため、巻きたての紙管を乾燥すれば必ず収縮する。ところが、一旦乾燥した紙管も、湿度の高い外気の中に放置すると再び伸びるから始末が悪い。それでもかっ

ては、強制乾燥ではなく、一、二日の自然乾燥で、季節により多少の長さの変化を見越して仕上げカット寸法を決めても結構通用していたが、次第に一部の製品について、ユーザ



の規格の要求が厳しくなり、例えば、含水率7%、寸法誤差±0.1mmと、かつて予想だしなかった規格に戸惑いすら感じた。

そこで、ユーザの規格をクリアするため、減圧式乾燥機や恒温恒湿の保管室を設置し、仕上げカット寸法も精度の正確期し、その上カットした製品はポリ袋に入れて包装するという二重、三重の対策を講じて来た。そのため、お蔭で寸法規格では格別の大きなクレームもなく今日に至っている。

然し、梅雨どきになると、一、二件寸法のとで小さなクレームがあるが、ユーザ側の保管の仕方に原因があつてもクレームはクレームである。何とかクレームを無くすため、不可能と分かっていたにも、伸縮のない紙管が出来ないものかと考えながら、寒酸に眺めるうつつとうしい天気、気の重い毎日である。
(日十八、七、十一記)

紙管原紙統計表

(数量t・金額百万円)

年月	生産	計	出荷			月末在庫
			販売		その他	
			数量	金額		
平成11年	307,670	309,643	274,743	17,460	34,900	18,071
12年	313,845	313,209	279,401	17,560	33,799	18,716
13年	306,083	300,718	268,677	16,536	32,041	21,837
14年	306,085	307,660	273,582	15,952	34,078	19,325
15年	318,774	315,544	290,840	18,289	24,704	22,001
16年	292,271	290,497	267,040	15,692	23,457	27,979
17年	325,271	322,722	294,158	17,122	28,564	329,192
平成17年9月	27,526	27,573	25,150	1,435	2,423	27,984
10月	29,394	28,823	26,479	1,518	2,346	28,553
11月	28,245	28,515	26,165	1,483	2,350	28,283
12月	26,594	27,599	25,090	1,425	2,509	27,278
平成18年1月	26,436	25,815	23,563	1,942	2,252	27,899
2月	25,955	26,330	24,268	1,976	2,062	27,524
3月	28,973	30,454	28,197	1,902	2,257	28,043
4月	28,274	28,749	26,593	1,540	2,156	25,568

経済産業省 紙・パルプ製品統計月報

平成16年度 工業統計表 品目編

紙管製品に関する統計表 平成18年10月分

品目別出荷及び算出事業所数(従業員4人以上の事業所)

年次	出荷金額(百万円)	算出事業所数
平成12年	73,526	238
13年	69,364	233
14年	67,708	243
15年	68,238	243
16年	67,272	232



NIPPON DAISEI
PAPER CO., LTD.

日本大昭和板紙株式会社

〒103-8027 東京都中央区日本橋2丁目3番3号
TEL:03-3242-7311 FAX:03-3242-7312

■生産会社

- 日本大昭和板紙東北
- 日本大昭和板紙関東
- 日本大昭和板紙西京
- 日本大昭和板紙西日本



紙は時代のメッセージ。

TOYAMA
SEISI

富山製紙株式会社

代表取締役社長 寺崎 敏治

本社工場/富山県下新西町3番14号 〒930-0807
TEL (0764) 32-1147 FAX (0764) 31-4498



Oct. 29 - Nov. 2, 2006
CHICAGO, ILLINOIS USA

開催地：米国・シカゴ
会場：シカゴマコーミックプレイス
期間：2006年11月7日-11日

主な出展品

包装機械、紙加工機械、包装・容器、制御装置、ソフトウェア、部品、製造・ロボット及び設計システウ・IT機器・テクノロジー、コンピューター、専門出版物 他

PACK EXPO

シカゴ全米包装展

世界の包装業界をリード！ 全米最大の包装用機器と資材の専門見本市

www.packexpo.com

見所・特徴

「バックエキスポ」は、機械、資材、製造から販売・経営に至るまで包装に関するあらゆる側面を網羅した、北米最大の包装用機器産業の見本市です。主催する「包装機械工業協会 (IMMI)」は、全米の包装機械製造会社で構成された非営利の業界団体で、この見本市の出展料金を低額に抑えているため、大企業だけでなく中小企業も出展が多く、展示内容がバラエティに富んでいます。

二年に一度の開催ですが、全米はもとより、全世界の包装業界に影響を与える見本市で、世界約六十カ国以上から五万人近く訪れるビジターのために、インターナショナル・ビジネスセンターが開設されます。また、通訳や複数言語をサポートしたコンピュータによる会場案内も用意されます。

最近の出展傾向は、自然保護、環境問題、リサイクルリングなどに対応した加工機械のテクノロジーや資材が目立ちます。

IT 推進委員会からのご案内とお願い

IT 推進委員会では、会員向けの「メールマガジン」の発信を予定しております。しかしながら、組合員全社のメールアドレスのご連絡がございませんので、ここで改めて当組合へご連絡頂きたいお願い申し上げます。このメールアドレスにつきましては、常に組合からのご連絡にも使わせて頂きますのでご了承下さい。尚、「メールマガジン」の発信に関しましては、本社に限らせて頂きますが、本社以外で別の地区部会へ加入されている場合はこの限りではありません。ご連絡は必ずメールにてお願い申し上げます。

組合メールアドレス：alljappt@mxi.mesh.ne.jp

合同研修会のお知らせ

日時 平成十八年十月二十日（金）
場所 愛知厚生年金会館

ウエルシテイなごや

是非、ご予定下さい！

昭和高分子の
紙管用接着剤

ポリゾール



昭和高分子株式会社
取締役社長 柏田 邦夫

本社 〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-20
電話 03-3293-8844 (代表)

主店 大阪・名古屋・仙台・福岡
営業所 富士・高松
工場 伊勢崎・高崎・電野・大府

環境に配慮した



無可塑剤型

紙管用接着剤

ボンドCNシリーズ

ボンドCN140 ボンドCN150

コニシ株式会社 (ボンド事業本部)

本部 / TEL.06-6228-2951
東京支店 / TEL.03-5259-5734



2006東京国際包装展 10月3日(火)～7日(土) 東京ビッグサイト

主催/社団法人 日本包装技術協会

明日のために～いま包装にできること～



2006東京国際包装展—東京パック2006—は、いよいよ本年10月3日(火)から7日(土)までの5日間、社団法人日本包装技術協会(会長:王子製紙(株)社長/鈴木正一郎氏)の主催により、有明・東京ビッグサイトの東ホール全館を使用して盛大に開催されます。

1966年の第1回から数えて今回で21回目の開催を迎える東京パックは、アジア地域最大規模のパッケージの総合展示会として、毎回内外の包装産業のあらゆる分野から、最新の包装資材・包装機械・関連機材類の出展が期待されています。

「明日のために～いま包装にできること～」をテーマとする東京パック2006は、明日に向かって今も進化を続けている包装の姿が余すところなく披露され、包装の最新情報発信の場として包装業界はじめ関係各方面から大きな注目を浴びることでしょう。

<http://www.tokyo-pack.jp/>

《当組合員出展社》

(株)永幸 東4-018
(株)鈴木松風堂 東4-047
日本化工機材(株)東4-008

PR情報委員会からのお願い

会報の制作にあたり、皆様からのご投稿・ご意見をお寄せ下さい。お待ちしております。

宛先 alljappt@mx.mesh.ne.jp

事務局からのお願い

色々と皆様にお願ひ致しておりますが是非ともご協力下さいますようお願い申し上げます。

紙管製品景気動向調査ご協力のお願い

すでにお送りしております標記調査は現段階できっとお役に立てると存じますので、是非ご協力下さいようお願い致します。

締切日 平成18年8月5日

特許出願中

新無可塑剤型
紙管用接着剤
A-560シリーズ



アイカ工業株式会社

東京本社 化成品カンパニー営業部

東京都練馬区豊玉北6-5-15 アイカ東京ビル
TEL:03-5912-2774

紙管用接着剤

コニシ株式会社 代理店

株式会社 旭 栄

大阪市北区天神橋1-1-1 電話 06-6354-0356

新発売

紙管用でんぶん糊(天然系)

HMノール NK-609

水性紙管用すべり剤

スライダーKS

紙管用接着剤・すべり剤製造販売



株式会社 森川商店

【本社】
京都市下京区福川丸太上ル
TEL:075-341-8121
FAX:075-341-8143
<http://www.morikawashoten.co.jp>

【デクノセンター】
東京都豊洲4丁目1200-39
TEL:077-516-2221
FAX:077-563-8804
E-mail:techno@morikawashoten.co.jp

積水フーラー株式会社

紙管に使う紙糊用接着剤

SEKISUI FULLER

大きく育てよう—市場に乗り、市場にチャレンジ

大阪市北区西天満2-4-4 (堂島関電ビル5F)
TEL:06(6365)4603 FAX:06(6365)4607